

公益財団法人

日本教育公務員弘済会

福井支部のしおり



坂井市立丸岡南中学校



小浜市立西津小学校



福井県立科学技術高等学校

Contents

年頭にあたり

令和5年度 福井支部事業報告

教育文化活動助成活動報告

「学校応援キャンペーン」学校賞 当選校発表

走力アップ教室

令和6年度 支部事業計画

共済事業のご案内

令和6年度 貸与奨学生募集のご案内

2024.1発行

vol
37

年頭にあたり

公益財団法人
日本教育公務員弘済会福井支部
支部長 藤田清憲



新年明けましておめでとうございます。
 日本教育公務員弘済会(日教弘)の会員ならびに県内教育関係の皆様には、日ごろより日教弘福井支部の諸事業の推進にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。
 さて、当支部では、教育に携わる仲間たちの助け合いの輪を広げるとい創立の理念のもと、今日の厳しい教育環境の中、明日を担う子どもたちの健やかな成長のため頑張っている教職員の皆さんを応援すべく、福井県教育の振興及び貢献する事業の普及・拡大に努めています。
 本年度の教育振興事業は下記のように、①奨学事業では48名に奨学金の貸与・給付を、②教育研究助成事業では、14団体、20研究大会、72校に助成をさせていただきました。教育論文は6校から応募いただき、現在審議中で各賞の結果については3月に発表させていただきます。③教育文化事業では、延べ289校、1大会に助成させていただきました。このように多くの学校・教育研究団体や教育研究大会関係者の皆様にご教育振興事業を活用いただきました。
 また、教弘保険にご加入いただいている会員の皆様への福祉事業では、結婚・出産・入学等の祝い金の給付事業、宿泊や人間ドック、映画鑑賞会等の補助事業でもたくさんの方にご利用いただいています。さらに、「教弘保険」に加入されていなくても教育関係の誰もが入会費・年会費無料でご利用いただける、「日教弘クラブオフ」も展開しています。
 今後も、公益法人財団としての使命を果たすべく教育振興事業の一層の充実を図り、「最終受益者は子どもたち」を理念として、福井県の教育の振興・発展に尽力する所存です。

令和5年度 福井支部事業報告

教育振興事業

(令和6年1月5日現在)

★奨学事業

・貸与奨学金	11名	10,000,000円
・給付奨学金	33名	3,300,000円
・大学給付奨学金	4名	5,760,000円

★教育文化事業

・教育図書贈呈	小学校	185校	5,055,930円
・教育文化活動助成		83校	6,640,000円
・へき地複式学校支援		21校	1,050,000円
・教育文化・芸術・スポーツの振興		1大会	100,000円

★福祉事業・福祉関連事業に関しましては、次回号にてご報告いたします。

★研究助成事業

・教育研究大会助成	20大会	2,150,000円
・教育研究団体助成	14団体	1,800,000円
・教育研修助成	66校	2,640,000円
・特別支援学校教育支援	6校	300,000円
・教育実践研究論文	6校	※3月発表予定

たすけあいの輪

弘済会は、学校・教職員、ジブラルタ生命との「たすけあいの輪」を広げ、「最終受益者は子どもたち」の理念のもと、教育振興の充実を図るとともに会員の皆様の生活に安心と潤いをお届けします。



公益財団法人日本教育公務員弘済会(略称：(公財)日教弘)の教育振興事業(奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)及び福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

教育文化活動助成 活動報告

県下の伝統文化の保護・技能の継承、科学技術の発展、自然環境の保全、国際交流等の発展・向上を目的とし、特色ある創造的な教育文化活動に対して、今年度は、以下の83校に助成をさせていただきました。



福井市豊小学校



総合的な学習の時間を使って、福井県の伝統について調べ、その良さを知る活動を行っている。4年生は、越前和紙・越前漆器・越前焼・越前打刃物などの伝統工芸の歴史について調べ、実際に打刃物を制作している施設に行き、見学したり体験したりして、その良さを感じる。2年生は、身近な地域について、3年生はかまぼこやみそづくりを通して、5年生は狐川の自然を通して、6年生は地域の施設を通して学びを深めている。

福井市足羽小学校



創立150周年の式典をきっかけに全校児童による俳句作りを行ってきたが、今年は、俳句実行委員を募集し、俳句大会を実施している。今年度行った俳句大会のテーマは、連台音楽会、体育大会、マラソン大会である。そのつと、最優秀賞、実行委員特別賞などを設け、校内放送にて児童による放送を行った。今後は、テーマを実行委員で決め、俳句の作り方などを放送で伝えるなど、さらに、児童主体の活動になるようにしていきたい。

福井市春山小学校



4月より、生活科、社会科、理科、総合的な学習等において、どの学年も探究活動や体験活動を行ってきた。特に校外学習や修学旅行等では施設等を訪問し、実物を見る、聞く、触れるといった活動を行っている。また、現地でインタビューを行ったり、写真で記録を残したりすることにより、子どもたちの学びはより深いものとなっている。さらに、事後学習として、学んだことや感じたことを新聞にまとめたり、グループで発表したりする活動も大切にしている。

福井市松本小学校



街中に位置する松本小学校で、のびのびと自然観察や飼育・栽培活動ができる学びの場をつくりたいと考え、中庭の整備に取りかかりました。サツマイモ畑やメダカ池を整え、シンボルとなるトングリの木を植えます。令和6年度には、生活科や理科などの学習で活用できるようにします。児童から募集し、新しい中庭の名前は、「どんぐりランド」に決まりました。松本っ子の学びの場として、豊かな体験活動を支えることを願います。

福井市安居小学校



5年児童が、本堂営農組合のご協力を得ながら、田植え・稲刈りをした米を、10月29日に行われた「安居小中学校PTA祭」にて販売した。体験活動を通して、地域に広がる水田について理解するとともに、地域の方々との交流を深めることができた。米を量ってイラストを描いた仕分け袋に詰めたり、宣伝用ちらしの作成や印刷等も行ったりするなど、児童一人ひとりが意欲的に活動に取り組むことができた。

福井市森田小学校

4年生は、「福祉」に関して学びを進めている。本校は、令和3年度にいただいた助成金でポッチャを購入して、福祉の学習の一環として取り組んでいる。本年度は、さらに障がい者と健常者が一緒になって取り組めるスポーツとして、フライングディスクを購入して活動を行った。また、ニュースポーツクラブでも活用し、本校のすぐ隣にある九頭竜川河川敷を使って、ディスクを飛ばしたり、ディスクゴルフを楽しんだりした。



福井市清明小学校

第3学年総合的な学習の時間では「清明のおたから、大発見！」の学習をしています。清明地区にある史跡巡り、城山登山など、10月から11月にかけて3日間の活動です。「摩崖仏」「へび神社」などのエピソードや城山の植物について、地区の方から教えていただきました。城山登山では天気に恵まれ、三国あたりまで見渡すことができ、児童は笑顔いっぱい「やっほー。」と大きな声で呼びかけ、山頂からの景色を満喫していました。



福井市清水南小学校

各学年で地域学習を通して地域をよく知り、地域の人の絆を深める児童を育成している。特に3年生は商業施設の見学や4年生は校区の特別支援学校との交流を行ってきた。本事業では、施設の見学や交流に出かける交通費、活動時使用するタブレットのケースを購入した。タブレットのケースは、校外での活動時に手軽に運べ、スムーズにタブレットを使用できた。児童は、写真や動画を撮り活動のまとめをしつかりと行うことができた。



福井市清水北小学校

プロジェクトは、6月の中学年児童のトンクリ教室から始まりました。学校裏の里山を散策して自生している植物について学んだり、上級生が植樹したトンクリの苗を確認したりして、森が、多くの地域の方々や卒業生達の手によって削られていることを理解しました。5年生は中学年から育てているトンクリの苗を、6年生での植樹に向けて世話を継続しています。6年生は晩秋に植樹するための、振り返りの学習を行っています。



福井市社西小学校



本校敷地内にはヒオトープがあり、造設以来環境と結びつき強いほたるの飼育観察を社西ほたるの会の方の協力を得て継続している。ほたるの生育調査や学校近くの狐川の水质検査を実施しながら、子どもたちは環境美化への関心を高め、自分たちができることについて探究活動をすすめている。ヒオトープを守る活動として、啓発看板づくりに取り組んでいる。今後は、自分たちの活動を外に向けてどう発信していくかも考えていきたい。

福井市本郷小学校



本年度前半は、子どもたちが互いにつながり合う場を設定するために、次のような活動に取り組んだ。
・地域とつながる「ふるさと教育」の一環として、地区水田での田植えや稲刈り、学芸員を招いて、本校の山「さわらび山」での自然教室を実施した。
・子ども同士がつながる学習活動を展開するために、一人一枚ミニボードを活用している。メモや考えの足跡が記されているため、協働的な学習ができています。

福井市下宇坂小学校



12月にチアアドリームプロジェクトを招き、保護者、児童参加でチアダンスの実演と教育講演会を計画している。本団体は、笑顔とダンスで人や地域を元気にすることを目指している。事前学習として、送られたビデオレターを見て自分の夢について考え、それを絵や文章で表現する活動を行った。講演会では笑顔で活動しながら夢を叶える力強い姿を通して、児童が心のエネルギーを高め自分の夢について向き合う時間にしたい。

福井市六条小学校



4・5年生を中心に、5月田植え・9月稲刈りをJAや公民館の協力の下、地域の方々が行い、12月には収穫したもち米で餅をつきみんなで収穫を祝い合うという行事を毎年行っている。それまでに、5年生が、JA訪問や米の生育の観察、米農家や地区の米を原料に使う日本酒の蔵元へのインタビューなど、当日の発表に向けて今年度も準備を進めている。子どもたちが地域を知り、愛する心情が育つ重要な機会となっている。

永平寺町立志比小学校



本校では、学びの土台である「互いに認め合える仲間づくり」に力を入れており、ポジティブ教育プログラムや仲間づくり活動に全校で取り組んでいる。6年生のリーダーが考えたフレンド班活動や、来年度の学校統合を見据えた交流学習会の活動の1つとして、キンボールを行った。大きな声で「オムニキン〇〇。」と言って、助け合いながらみんなで楽しくプレイし、感動を共有したり、協調性を高めたりすることができた。

永平寺町立志比南小学校



今年は、「人権の花運動」の協力校になり福井農林高校生と行うことになった。環境委員会がデザインを全校児童から募集し、来年春開業予定の「新幹線」が選ばれた。農林高校に発芽を依頼し、低学年が小さな苗をポットに入れ替えた。水やりをして苗を大きくし、高学年が花壇に植え替えた。夏休みの親子奉仕作業で草むしりをするなど全校で活動でき美しい花を咲かせることができた。

福井市羽生小学校



タブレット端末を効果的に活用するために、全校でプレゼンテーションの場を多く取り入れている。特に、毎月行われているスピーチ大会では、画像や動画を用いてスピーチをする児童も増えてきた。本校では、タブレット端末を個々の児童が有効に活用できるよう、キーボード検定も取り入れている。ICT機器が児童の学びの場で容易に活用できるように、プロジェクトの使用をその一つとして考え、活用している。

総合的な学習の時間を中心に「清水西地区にある伝えていきたい魅力」について学習している。3年生は、学校隣の「賀茂神社」を訪問して神主さんのお話を聞いた。6年生も一緒に訪問し、修学旅行の事前学習を行った。5年生は春から地域の方と一緒に「米づくり」を行っている。9月には稲刈り・はさがけ・脱穀を体験した。その後、それぞれの学年で学んだことをタブレット端末を利用してまとめ、発表会を行った。

福井市清水西小学校



永平寺町立松岡小学校

本校は今年度「創立150周年記念事業」を行います。その行事と「ふるさと教育」を関連させて、総合的な学習を中心に6年生ではCM作り、5年生では町「ふるさと教育」発表会に向けて準備を進めています。活動班毎に複数教室で同時に活動するので、教師・児童用タブレット以外のタブレットと大型モニターを用いて情報共有をします。11月下旬の町小学校「ふるさと教育」発表会でタブレットでオンライン配信し発表します。



永平寺町立上志比小学校



4年生は、身体に不自由な方を介助する方を学び、非常時の対応について理解を深めることができた。5年生は、避難所生活を想定し、活用できる便利グッズを制作した。6年生は、地域のハザードマップを見て、洪水による浸水の危険度について調べ、避難先や避難経路について考えることができた。また、全校では自然災害が起こった時の引き渡し訓練を行い、身の安全を確保することの大切さについて学ぶことができた。

本校は、ふくいSDGsパートナーに登録してSDGsの17の目標を関連づけて学習する取り組みを推進し、主体的に学び行動する子の育成に取り組んでいます。4年生は、11月に地域の方と触れ合う活動を通して地域活性化に貢献することを目的として、市内の量販店で自分たちが考案した催しを開きました。「お祭り広場」「工作教室」「ミニコンサート」などを行い、地域の方や園児に楽しんでもらうことができました。

大野市有終南小学校



専門家のアドバイスのもと、加工された材木を児童達が組み立て、ミミスコンポストを作りました。現在は、給食の生ゴミをミミズの餌として与え、ミミスが土を肥料に変える過程を観察しています。児童はこの取り組みを通し、食品ロス問題や循環型農業について学習をしています。今後、ミミスが作った肥料を土作りや栽培に実際に生かすために、地域に配布する予定で、SDGsをアピールする配付用袋を作成中です。

大野市上庄小学校



金津小学校では「学びを楽しみながら自分の思いや考えを言葉で豊かに表現できる力の育成」をテーマに、対話や主体的な活動を重視しながら実践を進めています。コミュニケーション力やプレゼン力を育てる活動を多く取り入れ、特にふるさと学習ではICTを活用したCM動画発表やパンフレット配布等、学年に応じて様々な取組が行われています。これからも児童のわくわく感を大切にしながら、学びを楽しむ活動を進めていきます。

あわら市金津小学校



全校児童を縦割り6班に分けた児童会活動に取り組み、①ながよしたてわり遠足、②ながよし球技大会を行ってきました。この後③ながよし百人一首大会、④6年生を送る会を行います。運動会も縦割り班による3色で行いました。地域行事にも、①吉崎湖畔の夕べ(3、4年)、②細呂木公民館祭(1、2年)と積極的に参加し歌やダンスを披露しました。また、毎月学校だより「ほそぎつこ」を校区内に全戸配付を行っています。

あわら市細呂木小学校



勝山市立成器南小学校



3年：校区の宝さがしの計画を立て出かけてまとめる。
4年：校区のバリアフリー探しをし、外部講師と共に高齢者・妊婦・車いす体験を実施。
5年：繊維の歴史を学び、繊維体験を実施。市のリサイクルの歴史を学び、市民リサイクル活動に参加。
6年：雪室そば粉のパッケージデザインやメニューを考案、市の会議でプレゼンする。雪室が校区にある長野県山ノ内町西小学校と交流。外部講師を招き、CM制作を行い発信予定。

勝山市立成器西小学校



本校では、地域のお宝発見・体験活動として、勝山市の伝統や産業等について、歴史や関連施設・企業、地域の方との交流を図り、ふるさと教育を進めている。3年生は、工場見学や繊維体験等を通して繊維の歴史や魅力を再発見した。4～6年生では、地元企業の社長を招き、市の繊維産業の歴史や現在行っていること、SDGsの取り組みについて学んだ。6年生は、勝山PRパンフレットを作成し、修学旅行先で観光客に配布した。

勝山市立村岡小学校



1・2年：町探検で公共機関や企業を訪問し地域理解に繋げている。
3年：地域の環境サークルの協力で赤とんぼの生態を学び、観察会を行う地域での自慢を見つけた。
4年：地区社協の協力で妊婦体験等を行い福祉が充実した幸せな町を考えている。
5年：JAと連携した米作り体験を通して食文化や自然について考えている。
6年：ミチノクワクジュソウ保全活動のまとめとしてふるさとPR動画作成や実践発表の準備をしている。

あわら市金津東小学校



本校では多くの体験活動を取り入れている。校区にある雁世川上流で稲の植樹やヤマメの放流・林業体験を行ったり、地域再発見ウォークでは縦割り班で学校周辺を探検したりして、写真や動画を撮影した。それを「あわらのたから」として映像にし、あわら市文化祭や地区の公民館祭り等で情報を発信している。また、「ふくいe刊」を利用して、あわら市や県内の他市町のニュースを情報として蓄積し、レポート作成に活かしている。

坂井市立高椋小学校



本校では、豊かな体験や本物にふれる文化芸術活動を実施してきました。記念モニュメントのタイル制作や卒業生による「ようこそ先輩」授業、地元のシンガーソングライターと一緒に制作した記念ソングを全校合唱するなど、ふるさとのよさを感じる活動を大切にしてきました。また、観光ボランティアやまちづくり協議会などの地域団体とも連携し、丸岡城について学ぶことで、地域のよさを学ぶ機会となりました。

鯖江市片上小学校



5年生はエシカル消費やフードロスなどをテーマに学びを深めた。今後は他学年へ学んだことを伝える活動として地元食材の調理実習などを計画している。6年生は福井観光大使として修学旅行で県外の人たちにPRしたいと考え、市の観光課職員を講師に招いて学びを深めた。成果は電子版のパンフレットにまとめ、他学年へのプレゼンを行った。11月の修学旅行では実際に県外の方に向け福井県のよさのPR活動を予定している。

勝山市立荒土小学校

荒土小学校では、児童の健やかな成長に資するため学校をあげて外遊びの充実に取り組んでいます。その具体的取り組みの一つが、遊ぶ環境の整備・充実です。本校の児童に人気の遊びの一つが「輪車遊び」です。そこで、グラウンドの倉庫に新しい輪車を4台配備しました。また、竹馬等、多種多様な遊びを楽しめるよう環境整備を進めています。このような取り組みが功を奏して、休み時間にグラウンドで遊ぶ児童の数が増えてきています。



本荘小学校で育つ子ども達には、自然、歴史、文化面で魅力的なふるさと本荘に学び、誇りに思い、大切にできる人に成長して欲しいと考えています。特に今年は、創立150周年を迎え、より深い学びを行っています。また、県国語研究発表の指定を受けており、言語活動の充実にも力を入れています。児童の主体的な学習推進のためICT機器を活用し、学び合いの様子をモニターに映し出し、他と共有するのに役立ちました。

あわら市本荘小学校



越前町立宮崎小学校

「すすんで学ぶ みんなとつくる」という教育目標の下、以下のような活動を行っている。
①地域に学び、地域に関わるふるさと学習
地域と関わりの深い学習(陶芸・たけのこ栽培・野菜栽培・歴史等)を、各教科と関連付けて効果的に展開する。
②みんなて試行錯誤する場(機会)の保障
学校行事や縦割り班活動、委員会活動、係活動等を通して、児童が新たなアイデアを出したり、これを実現したりしようとする力を育む。



本校では、地域の方のボランティアに支えられながら、米作りの学習を行っている。今年度も、地域の方々や保護者とともに、田起こしから田植え、稲刈り、はさ掛け、脱穀までの作業を行った。そして、収穫した米は「ゆのうまい」と名付け、児童自らが作成したラベルを貼り、道の駅や地産品直売所などでPR及び販売活動を行う予定である。また、その様子を写真やビデオに収め、CMを作成し「湯尾の魅力」として発信していきたい。

南越前町立湯尾小学校



川での水難事故や集中豪雨による洪水などの自然災害から命を守る知識とスキルを身につけます。地域の専門家の協力を得て、いろいろな実習を行いました。地元の日野川に入り、水流の強さや濁り、水温の低さと怖さを体感し、流れからの脱出やEポートを使った救助を実際に行いました。冷えた体を温める方法や火おこしや飲料水確保の方法を覚えました。今後、学んだことを校内外で伝え、地域を守る力となることを目指します。

越前市国高小学校



本校には、水生生物を観察する池がないため、観察池を作ることになった。本校の3階にあるウッドデッキエリアに水槽を購入し、メダカや水草、ヤマトヌマエビやタニシなどを入れたビオトープづくりを小学5年生と一緒にやった。現在、観察に訪れる児童、餌やりを忘れない児童など、その環境が受け入れられている。天気の良い日は、ウッドデッキエリアに吹き込む風が新鮮で、休み時間になるとリフレッシュする児童も増えている。

越前市王子保小学校



小浜市立小浜小学校



全校児童が生活科や総合的な学習の時間にふるさと小浜の文化資源を発見したり、調査活動をしたり、PR活動をしたりしている。特に4年生は、若狭地方最大の祭礼「放生祭」について取り組みを進めており、放生祭を盛り上げるために、横断幕やのぼり旗を作成し、地区中心地のまちの駅施設に設置した。6年生は、修学旅行の行き先(奈良)で自作のふるさと小浜PRパンフレットを配布し、PR活動を展開した。

小浜市立雲浜小学校



鯖街道について調べたり、実際に歩いたりすることを通して京都や奈良との結びつきを知り、若狭小浜を誇りに思う気持ちを育てる活動を行った。5年生は、小浜の活性化のためのプレゼンテーション資料を作成し、県内のプレゼンテーション大会に参加した。また6年生は、PR活動用の資料を作成し、修学旅行先で観光客に向けPR活動を行った。

小浜市立西津小学校



ふるさと西津に愛着を持ち地域貢献していく児童を育てるため、ふるさと学習を推進している。4年生は地域の偉人「綱目」を語り継いでいくための活動をおこなっている。5年生は西津の海について調べ「環境」「特産品」「観光」の3つのテーマについて探究している。6年生は若狭塗箸の魅力を発信するために箸づくりを体験し修学旅行で販売活動を行った。2月に学習発表会を行い学習の成果を保護者や地域に発信する予定である。

小浜市立加斗小学校

10月16日(月)、私たちのふるさとである小浜市加斗の鯉川シーサイドパークの砂浜で、福井国体ビーチバレーボール競技福井県代表の幅口絵里香氏、村上めぐみ選手にお越しいただき、体験トレーニング「Kids Play School」を実施した。ふるさとの素晴らしい海、山、浜を体ごと体感した。また、「こどもアートデビュー体験」(於県立音楽堂)は11月10日(金)に参加予定である。



低学年や美化委員会による花の栽培を行い、駅などの公共施設に設置してきた。春に向けてパンジーやヒオラの種まきをして苗を育てているところである。市のマラソン大会でのおもてなしになるように準備している。高学年では鯖街道の関連学習として、地元の民宿経営者から「鯖のへしこ」作りを教わってもらい、鯖をひらいて塩づけにして桶に入れたところである。次年度の完成に向けて熟成中で出来上がりが楽しみである。

小浜市立小浜美郷小学校



地域団体「高濱明日研究所」と連携し、地域課題の解決及び地域活性化に向けた活動を進めている。海の藻場を荒らすために駆除対象となったムラサキウニの利活用を目指した「ウニランプ」の開発・改良活動、藻草産地化事業の一環として栽培成功した赤紫蘇の有効活用を目指した「しそーめん」の商品化活動、持続可能な地域発展のために提案した「高小SDGs」の実現に向けた提案活動などに取り組み、その成果を広く発信している。

おおい町立高浜小学校



美浜西小学校では、ふるさと美浜元気プロジェクトの一環として、地域探究を行っている。10月13日には、美浜町の獣害の状況を知るために町内新庄地区に出向き、モバイルプロジェクターを使用して獣害の現状や対策などのレクチャーを受けた。今後は、町の課題を解決するためのアイデアをキーノートにまとめモバイルプロジェクターを活用してプレゼンテーションを行う。

美浜町立美浜西小学校



美浜町立美浜中央小学校



総合的な学習の時間において、学習発表を行う際にモバイルプロジェクターを活用している。6年生は、美浜の未来創造をテーマに地域の課題を解決するアイデアを、1月に実施予定の「ふるさと美浜元気フォーラム」で発表する。そこでは、児童が作ったスライドデータを投影し、自分たちの提案をブース毎にプレゼンテーションすることになっている。現在、発表に向けて、購入させていただいたプロジェクターを使って練習を重ねている。

美浜町立美浜東小学校



各学年の実態に応じて、地域の方に協力していただきながら炭焼き体験やツリーハウス体験、縄文時代の勾玉作り体験などの活動をし、地域の良さや課題を調べ自分たちができることを考える活動をした。それぞれの活動の様子はまとめて地域に向けて発表する。地域ボランティアでは地域の方と共にバス停や公園の清掃活動を行った。また体育大会には地域の方に来ていただき子どもたちの頑張りを参観・応援していただいた。

若狭町立梅の里小学校



本校で伝統的に継続している縦割り班活動、通称「ふるさと班」での交流は、今年度も全校児童が楽しみにしている活動のひとつ。今年も「ふるさと班レクレーション」「体育大会がんばったね会」等、高学年が意欲的に活動内容を企画・運営しながらリーダーシップやフォローシップを学ぶ場となっている。助成金で購入した新しい輪車を班活動で使った子どもたちは、嬉々として乗って楽しみ、低学年の練習に付き添う姿も見られた。

若狭町立鳥羽小学校

今春、町内初となる、抱卵を鳥羽小学校構の巣塔で始めたコウノトリ、伝統野菜の「山内がぶら」を軸に自分たちの住む鳥羽地区をPRすることをゴールとした学習活動を進めています。自分たちが観察したり調べたりしたコウノトリの情報を地域の方に知ってもらうためのペットボトルラベル作成と配布。「山内がぶら」栽培体験、地域食材を活かしたハンバーガーのアイデア提案など学校全体でふるさと学習に取り組んでいます。



若狭町立熊川小学校

校区に熊川宿があるという立地条件を生かし、数年前から熊川宿PRプロジェクトに取り組んでいる。今年度は、過去4年分のパンフレットの記事を分野毎に整理するとともに、語り部の方から教わった「地元民も知らない秘話」の記事を追加した。「熊川いつく時代村」や「修学旅行」では、イベントに応じて記事を組み合わせたパンフレットとタブレットを活用しながらPR活動を行い、ふるさと愛を育てるとともに表現力を伸ばしている。





10月29日(日)に、光陽中学校区3地区(足羽・湊・東守居)で公民館まつりが開催されました。足羽公民館ではバザーやゲームコーナー、湊公民館ではポップコーン販売やゲームコーナー、東守居公民館では射的ゲームの企画運営など、たくさんの中学生がボランティアに参加してくれました。地区の方からは、「よく働いてくれて助かる」とか、「挨拶や返事が気持ちよい」など、温かい言葉をたくさんいただきました。

福井市光陽中学校



福井市社中学校

本校では、生徒会が中心となって、地域の一人として年間15件ほどの地域活動に参加をしています。コロナ禍の影響も落ち着き、活動も再開しています。「地域に愛される学校に」「地域に貢献する生徒の育成」のテーマをもとに、PTA、公民館、校区の小学校など、地域と学校が密接な連携を図り、ボランティアや自主的な個人での参加など、全校あけて活動に参加し、地域の一人としての自覚をもつ子どもを育てています。



福井市杉坂中学校

ICTを活用した授業実践、特別活動や学校行事の中で自分の意見を発表したり、活動状況や周りの環境を画像に収めたりして、校内で他者に発信する機会を多く設けた。ライトニングケーブルを購入し、各教室に常設してより使用頻度を高めた。理科の授業では月の満ち欠けのモデル実験を行い、満ち欠けの様子を写真撮影した。撮影した写真を使い、月・太陽・地球の位置関係の変化によって月の形が変わることを説明させた。



福井市進明中学校



講師の方をお招きし、2年生の職場体験学習の事前学習を行いました。職場体験の目的や意義を確認し、生徒一人ひとりが訪問する事業所で実際に何を実行するのかを考え、それを互いに共有し、意欲を高めていました。今後は、職場体験で学んだことを互いに共有したり、他学年でも地域の講師の方をお迎えして、地域の良さや素晴らしさ、社会に貢献することの大切さ等を学んだりするキャリア教育を進めていく予定です。

福井市成和中学校



吹奏楽部・茶華道部・科学部・美術部の活動の成果を発表する機会をもつことにより、生徒の活動意欲と技術の向上を図るとともに、保護者とも文化祭を通して楽しいひとときを過ごすことを目的として本活動を実施した。一昨年度から引き続き今年度もフェニックスプラザを会場として開催した。多数の保護者の参観のもと、吹奏楽部の演奏、美術部の描いたステージバック、科学部のサイエンスショーや茶華道部の和装等の発表ができた。

福井市藤島中学校



2年生がリーダーとなって、出身小学校別に3つのグループに分かれ、5~7人の縦割りグループをつくり、各担当場所で活動した。日新公民館、明新公民館、西藤島公民館、およびその他の活動場所と連携し、地域の方々と中学生が1時間程度ボランティア活動を行った。

永平寺町立永平寺中学校



本校では、総合的な学習の時間を【OS】(オープNSTAティ)と呼び、ふるさと学習に取り組んでいる。コロナ禍により、人とつながる機会が少なかった3年間だったが、今年度は、各学年がテーマを決め、1年生は社会福祉協議会と2・3年生は町行政等と連携しながら、それぞれ特色ある活動を行った。また、地域でのボランティア活動を通して多くの人と関わることができ、地域を知り、地域への愛着を高めるなどの成果を上げることができた。

永平寺町立松岡中学校



松岡中学校では、総合的な学習の時間などに個人探究を行い、年1回の予定で他学年の生徒へタブレットを利用して探究活動の成果を発表しています。11月には、2年生が各自のテーマで探究したことを「探究フェスティバル」で発表しました。12月には、1年生が、永平寺町3中学校の1年生が集まる「ふるさと教育発表会」で、松岡発見伝カルタをもとに松岡地区について探究したことを発表しました。

勝山市立勝山南部中学校



「ゆめおーれ勝山」で1年生が育てた蚕の繭を絹糸を取り出す体験活動を行い、ボランティアの方々から絹織物の歴史について学んだ。その後は「ニッチな勝山」として自分たちの住む地域に隠れた「紹介したい場所や歴史」を探る活動に入っている。最初に平泉寺地区の生徒たちが小学校で培った「語り部」の活動を紹介した。実際に平泉寺でガイドをしてもらい、平泉寺について見識を深めるとともに、今後の活動の参考にすることができた。

令和5年9月8日、足羽中学校文化祭において、足羽中学校区の活性化に向けて、今後どのような取組を行うとよいかについて、3年生が提案を行った。「スマート農業による活性化」「eスポーツを生かした活性化」などをテーマに、5月に行った東京研修で学んだことを生かして具体的なプランを紹介した。下級生にこれまでの活性化に向けて取り組んできたことを伝えるとともに、その思いを引き継ぐことができる発表となった。

福井市足羽中学校



福井市森田中学校



長期休業に利用し、「森中わくわく学びフェスタ2023」を開催した。講座形式で、生徒の興味・関心を大切にした教育課程外の教育活動で、生徒や教員の提案から内容を企画する。生徒企画「SDGs教室 ソーラー自動車をつくらう」、「ギター教室」、「油絵教室」、「和同開珎づくり」など多様な講座が開かれた。生徒に活動を通して学びのチャンスを与える場になったり、教師にとって生徒の可能性の発見につながったりした。

勝山市立勝山中部中学校

1年生では、小学校で取り組んできたふるさと学習をベースに、鯖江市でのフィールドワークを計画、実行した。鯖江市役所市民活躍課の協力を得て、鯖江市のまちづくりに尽力しておられる方々のもとへ生徒たちがグループに分かれて訪問し、お話を聴かせていただいた。生徒たちは市役所の方や市民の皆様との熱い思いや多様な取組に触れ、勝山市の未来を考え、地域の担い手として主体的に学んでいく意欲を高めていた。



坂井市立三国中学校

本校では、11月15日の合唱コンクールに向けて、11月1日から各学年で合唱練習を始めた。帰りの会後の教室練習では、購入したキーボードによる伴奏に合わせて合唱練習をしている。練習用キーボードを5台購入したことにより、既存のものを合わせて1台を2学年で交替して使うことができた。練習の効率が高まり、表現力・歌唱技術の向上に加えて、生徒の意欲、学級の団結力も高まっている。



全校遠足において午前には福井SDGsパートナーの企業訪問を行い、午後からは三国サンセットビーチの海岸清掃を行った。パートナーシップである県内12企業を、縦割り(1・2・3年生の混成)のクラス構成となる12クラスで訪問しSDGsの取組を学んだ。海岸清掃は、日本財団「海と日本プロジェクト」が推進している海ごみゼロ運動を活用した。SDGsについて身近に感じ、「自分ごと化」に転化する貴重な時間となった。

坂井市立丸岡南中学校



1年生は、探究学習のテーマについて話し合いテーマの種類別でグループを作成した。次に、SDGsパートナーシップに提携している企業から講師を招きワークショップを行い、企業が持続可能な社会のために本気で取り組んでいることを知った。2年生は職場体験学習にSDGsの視点を加え、地域についてのプレゼン資料を作成した。そして県のプレゼン大会に出場した。

鯖江市東陽中学校



2年生の総合的な学習の時間において、「敦賀の街を良くするために、何ができるのか」という課題に対し、グループ毎に取組を考え、活動を行っています。敦賀市観光協会や敦賀市ふるさと創生課の方からご指導をいただき、来年3月の北陸新幹線敦賀駅開業を絡め、課題に対する調査やPR活動を通して、課題解決力の育成をめざしています。11月中旬には金沢での「校外学習・PR活動」を予定しています。

敦賀市立松陵中学校



1年生は、市役所各課の方にお話をお聞きし、今後の探究活動の見通しをもちました。2年生は、漁業体験施設で地元の産業や歴史について学びました。現在は、修学旅行での企業訪問に向けて準備を進めています。3年生は、修学旅行において首都圏で活躍されている小浜中学校出身の方を訪ね、視野を広げました。その後、小浜を魅力的にするプロジェクトを企画し、地元の方の支援を受けながら取り組んでいます。

小浜市立小浜中学校



南越前町立南越前中学校



本校は、昨年、統合した学校であり、スクールプランには「郷土への愛着を深めるふるさと教育の推進」と示されている。1年生は、ゲストティーチャーを招いて地域の事を学んだ後、タブレットを使い地域の事を調べた。その後、地域の良いところを集めたり作りに取り組み、地域の魅力を再発見していた。さらに、2年生では、夏の職場体験活動が行われた。今後、その成果をまとめ、発表会を開く準備を進めている。

越前市万葉中学校



9月21日(木)、越前市生まれの書家、プレゼンテーションクリエイターの前田鎌利氏を講師に招いて、プレゼンテーション教室を開催しました。本校では、自分の考えを人に伝える力を身につけるため、教科の授業や総合的な学習の時間に学習を進めてきました。今回のプレゼン教室では、人にわかりやすく伝えるための心構えや秘訣を学びました。あいにく学年閉鎖中であつたため、1・2年生はオンラインで視聴しました。

越前市武生第一中学校



地場産野菜等を使った商品開発を目指す活動を通して、地元の企業と連携した探求的な学びを推進している。学校と地元企業の方が「目指す生徒像」を共有し、生徒が主体的に探求的な学びを進めることができるよう、課題を設定した。活動では、地元企業の方を講師として招き、製造工程等を学んだり、商品開発に関する意見交換や試食をしたりして、味や見た目、原材料等についての研究を重ね、来春の商品完成を目指している。

おおい町立高浜中学校



「総合的な学習の時間」で企画提案型探究学習「高浜未来創造プラン」に取り組んでいます。全校生徒が「実生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て情報を集め、整理・分析・まとめ・表現できるようにする」ことを目指して活動中です。和田地区では生徒発案の地域イベント「灯籠祭」を実施(9/23)。碎導山城の魅力を発信する探訪ツアーの実施やPR動画制作、公民館と中学生が連携した町民講座の開催等も行っています。

美浜町立美浜中学校



美浜町では、学校、行政機関等が連携して「ふるさと学習」を進めています。そのなか、美浜中学校では、小学校、中学校、高校1・2年間のふるさと学習を継続・発展させるべく探究学習を進めています。美浜町唯一の中学校として、町内全ての小学生が学びの成果を持ち寄り、共に学ぶことでさらに内容を深めることができました。また、中高一貫教育を生かした美方高校との連携学習により、視野を広げることができました。



越前市武生第六中学校

自慢したいふるさとの魅力を調べ、1・2年生計21グループが南越ブロック各地で取材活動等を行い、その魅力を発信する動画を作成した。校内コンテストを行い県ふるさとCMコンテストに参加した。今年度45年目を迎えた「大菊3本立て」栽培を、菊名人指導の下3年生が行い、だけ菊人形会場に出品した他、校区小学校、公民館、こども園に展示し、広く地域の方々に観賞していただき、ふるさとの大菊の魅力を発信した。



敦賀市立気比中学校

本校では、ふるさと学習として、自分たちができる「まちづくり」に取り組んでいる。2年生では、来年春の北陸新幹線敦賀開業に向けて、地元敦賀の活性化を考える学習を行っている。そのための活動として、5月には学校近くの商店街へ、10月には2015年開業の金沢市へ商店街のインタビュー活動を行った。今後、学習活動のまとめとして、どのようなまちづくりを進めていくとよいかを、地域の商店街等に提言していく予定である。



福井県立大野高等学校

6月から校内で試作を開始。7月からパン店バナテリアの窯で試作を繰り返した。8月すこ作りを上田農園加工場で教えていただいた。リンゴ酢を利用し調味を行った。9月学校祭で4回目の試作品2種を「A、B」と表示し試食モニターを募った。アンケート154枚を元に最終的な味付けを決定、10月14日「越前ふくいマルシェ」で販売を開始した。同28日愛知産業大学主催「第9回高校生ビジネスプランコンテスト」最優秀賞受賞。



福井県立勝山高等学校

勝山高校では太鼓を演奏する生徒たちを集め、太鼓の魅力を様々な方へ伝え、広げていく活動を実施しています。今年も太鼓の演奏会を各地で実施しています。実施した演奏会を紹介します。5月はむろこむむの会の方々に、6月は勝山市の勝美会の方々に、9月は勝山北部中学校と中部中学校の生徒と保護者を対象に、10月は勝山市民を対象に、勝山市WAKUWAKUフェスタのオープニング演奏を担当しました。



福井県立美方高等学校

地域の小学校から依頼を受け、創立150周年記念のイベント用の弁当の作成と記念のクッキーの制作を行った。また、夏休み中には隣の学校で昼食として弁当販売をさせていただいた。さらには、美浜町、若狭町、敦賀市3カ所で一日カフェを実施させていただき、地域の方との交流の場を持った。



7月15日、生徒の国際性を育成する取組として理数探究科の生徒を中心に「高校生環境フォーラム」を行いました。国内外からオンラインで藤島・高志・東海大付属高輪台・テラサルリバ(フィリピン)・新店(台湾)高校など12校から約160名の高校生、対面で暖暖高校(台湾)の参加がありました。午前全体会と分科会での口頭発表、午後グループ別のディスカッションの全てを英語で行いアカデミック且つグローバルな会となりました。

福井県立若狭高等学校



福井県立清水特別支援学校

小学部の水遊びでは、児童の「やってみよう」気持ちを最大限に引き出すため、バブルボールやリアルに動く魚、シャボン玉等のコーナーを用意し、児童は興味関心を持って大いに楽しんだ。外のプール遊びの時には、テントを立てることで熱中症を防止でき安全に遊ぶことができた。中学部の作業学習ではペットボトル等のリサイクル作業に取り組み、清したペットボトルや空き缶を生徒と教員で11月に業者搬入、換金する予定である。



福井県立奥越特別支援学校

360度カメラを知るために、いろいろな動きで撮影してみたり、フラフープなどの物を使って映り方を確認したりした。映り方や動画の見方が分ると、生徒自らどんな使い方ができるか考え撮影していた。また、奥越地区を360度カメラを持って探索し、勝山のシンボルである恐竜を探しに行き、勝山案内の簡単な動画も撮影した。



福井県立科学技術高等学校

探究学習の成果発表会(2年「産業技術探究」は3月中旬・3年「課題研究」は1月下旬)に向けて、それぞれのグループで現在、課題解決に向けて内容を深めている。多岐にわたるテーマの取組があり、課題解決の目処がたち次第、成果発表の準備に入る。購入予定の発表のためのA1パネル15枚とプロジェクタースクリーンは12月発注予定。(写真: 繊維会社で大量に処分されている糸付紙管の再利用に取り組む生徒たち)



福井県立奥越明成高等学校



生活福祉科生活コースでは、個人でテーマを設定し、それに合わせてレシピ作成→試作→試食→改善を繰り返して調理研究を行っています。今後は各自のイチオシレシピをレシピ集にまとめ、地域や発表会で配布する予定です。ビジネス情報科では、奥越の星空に関する新たな観光資源づくりを目標に、地域おこし協力隊や地域の施設管理者と共同で11月にイベントを開催しました。今後地域を巻き込んだ観光地づくりに向けて考えていきます。

福井県立福井商業高等学校



今回は、探究活動の発表の様子を撮影しました。実際は360度撮られることもあり、発表のときの発表者だけでなく、聞いている人の表情や反応もみることが出来ます。発表後に生徒と共有することで、発表者だけでなく、聞く側の態度も次の発表はよりよいものになっていっています。オープンスクールの際に、実際の授業の様子を見たいという声も多くあるため、今後も様々な授業の様子なども撮影し、福井商業の魅力を発信していきたいです。

福井県立嶺南東特別支援学校



ワークテーブルは、作業学習の時間に活用している。作業に十分な高さがあり、なおかつ生徒に合わせて高さが調節できるため、効率よく作業学習に取り組んでいる。また、HDMIアダプターは、主に集団の授業で活用している。児童生徒が理解しやすいように、授業の流れはプレゼンテーションツールを用いて説明することが多い。活動によっては動画や写真を使用して内容理解を促しているため使用頻度が高く、大変重宝している。



福井県立ろう学校

手話ダンスのパフォーマーである北村仁さん(神奈川県在住)を迎えて、鑑賞したり、一緒に表現活動を行ったりした。迫力ある表現に圧倒されながらも、自分たちが普段から使っている手話をより美しく、より楽しみながら表現することの意味を考える機会となった。情報保障のためのアプリケーション「UDトーク」専用の機器を活用することで、簡易な方法でより正確に子どもたちに言葉を伝えることができた。



福井県立福井東特別支援学校

病弱の特別支援学校を対象としたロボットプログラミング選手権2023(病弱教育部門)近畿東海北陸地区大会に出場のため、プログラミングロボット「Proro」と付属品を購入しました。相撲形式のロボットバトルに挑戦、床センサや対物センサを利用して、自動で相手を押し出すプログラムを作成しました。実物のロボットを動かすことは初めてのことで、生徒たちは楽しみながら、何度も試行錯誤してプログラムを改良しました。



「学校応援キャンペーン」学校賞

今年度初めての施策として、令和5年7月3日から8月31日までの約2ヶ月に亘り実施しました「学校応援キャンペーン」で、多くの学校管理職の皆さまからご応募いただきありがとうございました。アンケートにお答えいただいた学校の中から、厳正なる抽選の結果、学校賞を贈呈する3校が決定しましたのでお知らせいたします。

- 越前市武生西小学校様 当選賞品 スポットクーラー
- 勝山市立三室小学校様 当選賞品 学校用ワンタッチタープテント
- 坂井市立大関小学校様 当選賞品 看板兼非常用ストレッチャー

走力アップ教室

今年度、「走力アップ教室」を
勝山市立村岡小学校と越前市服間小学校で
開催いたしました。(ジブラルタ生命主催)

ご参加いただきまして
ありがとうございました。



勝山市立村岡小学校



越前市服間小学校



令和6年度 日教弘福井支部事業計画

事業名	対象	募集・申請期間	給付時期	助成内容	備考	
奨学事業	賞与奨学金	本年度大学・短大等に入学された生徒(在籍者も可能):15名程度	4月1日~5月31日	8月下旬~	最大100万円(1学年25万円)	無利子貸与
	給付奨学金	中学3年に在学中で学習意欲があり、次年度高校進学を希望する生徒で、学校長が推薦する生徒:40名	10月上旬~11月末	翌年4月上旬	10万円	返還不要
	大学給付奨学生	高等学校・特別支援学校・高等専門学校3年に在学し、修学意欲があり、次年度大学進学を希望する生徒で、校長が推薦する生徒(各校1名まで):4名	8月1日~9月30日	翌年5月~	月額3万円(4年間)	返還不要
教育研究助成事業	教育研究団体助成	県内の幅広く有益な教育研究を行う団体 ※校長会・教頭会等の団体、小・中・高の教育研究団体等	4月1日~5月31日	7月中旬	10~15万円以内	申請書、役員名簿、成果報告書、会計報告書が必要
	教育研究大会助成	県内を会場とした県、東海・北陸、全国の研究大会を開催する教育研究団体	仮受付:~1月31日 本受付:4/1~5/31	7月中旬	5~30万円以内	申請書、役員名簿、成果報告書、会計報告書が必要
	教育研修助成	教職員の資質向上を図ることを目的に実施する校内研修会等の運営 ※経費・研修図書等の費用を補助 今年度は、福井・吉田・奥越・坂井地区の小学校	6月1日~6月30日	9月上旬	3~5万円以内	申請書、成果報告書、会計報告書が必要
	特別支援学校教育支援	国・県立特別支援学校:6校 ※教育文化活動助成との併用不可	4月1日~6月30日	7月下旬~	5万円以内	申請書、成果報告書、会計報告書が必要
	教育実践研究論文の募集	①学校部門 ②個人部門 各学校及び教育機関等並びにそこに勤務する教育関係者個人及び研究グループ等	4月上旬~10月中旬	3月下旬	入賞 3万円 最高 50万円	学校・個人の中から3編を本部に推薦 ※支部奨励あり
教育文化事業	教育図書贈呈	県内の小・中・高・特支校・国公立幼稚園・公立認定こども園に教育図書の贈呈 今年度は、中・高・特支校・国公立幼稚園・公立認定こども園	5月1日~5月31日	7月~	1~5万円以内	教育図書選定基本もくろから本を選択
	教育文化活動助成	創造的で特色ある教育文化活動を行っている、小学校・中学校・高校・特別支援学校:70校 ※へき地、特支教育支援との併用及び前年度助成を受けた学校の申請は不可	4月1日~6月30日	7月下旬~	6~8万円以内	申請書、中間報告書、成果報告書、会計報告書が必要
	へき地・複式学校教育支援	準へき地・複式学級に指定された学校:20校 ※教育文化活動助成との併用不可	4月1日~6月30日	7月下旬~	5万円以内	申請書、成果報告書、会計報告書が必要
	文化スポーツの振興	児童生徒の教育文化・芸術・スポーツの振興をめざす各種大会・イベント企画・運営等を支援 ※北陸大会以上	仮受付:~1月31日 本受付:4/1~5/31	7月中旬	5~20万円以内	申請書、成果報告書、会計報告書が必要
福祉事業	宿泊補助	日教弘の指定宿泊施設を利用する会員とその家族	ご利用の7日前まで	随時	会員 3,000円 家族 2,000円	自分で予約した場合に限る(年間4泊)
	結婚祝金	ご結婚された会員	随時	随時	7,000円ギフト券	申請はご結婚1年以内
	出産祝金	お子様が誕生した会員	随時	随時	7,000円ギフト券	申請はご出産1年以内
	小学校入学祝金	お子様が小学校に入学した会員	随時	随時	7,000円ギフト券	申請はご入学年度内のみ
	高等学校入学祝金	お子様が高等学校に入学した会員	随時	随時	5,000円・7,000円ギフト券	申請はご入学年度のみ 加入回数・年数によって祝金額が異なる
	銀婚祝金	教弘保険の継続が10年以上で銀婚式を迎えられた会員	9月1日~9月30日	11月中旬~	加割ギフト	加入回数・年数によって祝金額が異なる
	(新規) 満30歳健康祝金	年度内に満30歳を迎えられる会員	申請不要	上期: 8月 下期: 2月	5,000円 加割ギフト	
	満45歳健康祝金	年度内に満45歳を迎えられる会員	申請不要	上期: 8月 下期: 2月	5,000円 加割ギフト	
	映画鑑賞会	【映画鑑賞会】 会員とその同伴者1名	開催時期に合わせ別途案内(年2回)	開催の2週間前	ペアで 250組500名	申込が必要 ※応募多数の場合は抽選
		【映画鑑賞券】 会員	利用可能期間に合わせ別途案内	利用可能期間に合わせ贈呈	2枚1組を 100組200名	申込が必要 ※応募多数の場合は抽選
人間ドック受診補助	人間ドック・脳ドックを受診された51歳以上の会員 ※定年検診・定期健診・健康診断は除く	受診後2ヶ月以内	申請日から 2ヶ月以内	5,000円	申請書、領収書の写しが必要	
国内研修旅行	退職会員		時期:9~11月頃 先行:(企画中) 助成:2万円			
福祉関連事業	新採用御祝	新採用教職員	4月~6月	4月上旬~	数点の中から選ぶ	ジブラルタ生命保険の学校担当者がご案内
	新規会員加入記念品	新会員加入者	随時	随時	A4バインダー	
	校長昇任御祝	校長昇任者	申請不要	4月~6月	高級ボールペン	役員・参事が持参
	教頭昇任御祝	教頭昇任者	申請不要	4月~6月	名刺入れ	役員・参事が持参
	退職記念品	教弘保険、又は教弘付属保険に加入の退職予定者	申請不要	随時	今治タオルセット	
	会員継続記念品	ユース教弘保険満了時に新教弘保険へ移行継続された会員	随時	随時	クリップファイル	
		教弘保険に令和元年度加入し、継続5年を終えられ、今年度6年目に入る会員	申請不要	上期: 8月 下期: 2月	若狭塗箸	ジブラルタ生命保険の学校担当者が持参
退職時に教弘保険を継続された会員		申請不要	8月下旬	若狭牛A-5ランク		
おたのしみプレゼント	全教職員(クイズ&アンケート)	6月15日締切 11月15日未締切	7月中旬~ 12月中旬~	豪華賞品	年2回	

令和6年度 貸与奨学生募集

大学・短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程に在籍または入学が決定している学生に奨学金を貸与します。

- 募集人数：15名程度
- 貸与金額：修学年度1年につき25万円。最大100万円を無利息で一括貸与
- 募集期間：令和6年4月1日～令和6年5月31日
- 返還方法：卒業した年の12月から5年(100万円の場合は10年以上)で年賦返済
- 申請方法：福井支部までお電話にてお申し込みください。手続きについてご案内いたします。
※申請時提出書類：奨学生申請書、付属調査票、連帯保証人の収入証明書、在学証明書
※内定後提出書類：奨学金借用証書、連帯保証人の印鑑登録証明
- 備考：福井支部教育振興事業選考委員会にて選考後、6月中旬に結果を通知いたします。
- 問い合わせ先：公益財団法人日本教育公務員弘済会福井支部 奨学金担当 (TEL：0776-23-4433)



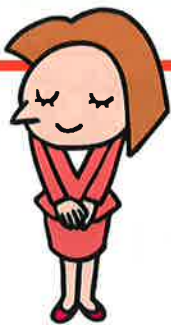
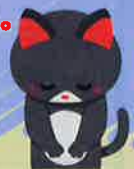
令和6年3月末にご退職予定の皆様へ

12月2日に嶺北会場・嶺南会場にて、福井県学校生活協同組合様と合同で開催いたしました、退職予定者説明会にご参加いただき、ありがとうございました。

この説明会でもご説明させていただきましたが、退職後は教弘保険の保険料が給与引取りできなくなりますので、福井銀行の口座振替に変更手続きをしていただく必要があります。

手続きの方法については、共済事業提携会社のジブラルタ生命の学校担当者がご案内をさせていただきます。

ご退職後も豊かで安定した生活を送るためには、万が一に備えての保険は必要です。
ご退職後もぜひご継続ください。
また、教弘保険に未加入の方はご加入をご検討されるラストチャンスです。



福井支部からのお願い

再三のおしらせではございますが、メール便の運用方法が変更になり、日教弘会員様ならびに教育関係者のみなさまには多大なご不便、ご迷惑をおかけいたしておりますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

- ①福井市内の公立小・中学校へは、当面週1回(毎週、木曜日に教育センター発、金曜日に各学校着)お届けします。
- ②福井市以外の公立小・中学校への文書等は郵送させていただきます。
また、県立学校・私立学校への文書等もこれまで通り郵送させていただきます。
- ③日教弘福井支部への返送が必要な場合は、郵送またはFAX(一部可)にてお送りくださいますようお願い申し上げます。

※日教弘福井支部宛の送付物がある際は、教育センター内の団体様宛の封筒(県教組様の青い封筒や学生協様のオレンジの封筒 等)のご利用をご遠慮いただきますようお願いいたします。

編集・発行 公益財団法人 日本教育公務員弘済会福井支部
株式会社 福井教弘

〒910-0005 福井市大手2-22-28 福井県教育センター3F

TEL:0776-23-4433 FAX:0776-23-1828

メールアドレス fukui@nikkyoko.or.jp



日教弘福井支部 日教弘福井支部 日教弘福井支部 日教弘福井支部 日教弘福井支部

↓↓ 各種申請書はこちらから ↓↓

日教弘福井支部

検索

